

青森からお届けします！

青森は日中の気温が10℃近くまで上がる日が増えてきました。
雪解けもかなり進み、畑の中のカンジキ無しで歩き回れるようになりました。
花芽も少しずつ膨らんできました。りんごの花が咲くのが楽しみです。

現在の作業は剪定後の病害防除 病気の予防作業です。「りんご」って、
とても病気が多い木なんです。

ちゃんと予防しておかないと、せっかく何十年も
りんごを収穫した木でも、1年後には伐採
しなければならない状態になります。

そうならない為にも剪定が終わったら、
速やかに切り口に薬を塗ってあげます。
写真の黒い丸の部分が薬を塗った後です。
こうする事で切り口から病原菌の侵入を
防ぐことができます。



りんご農家は何でも屋さん

雪解けの進んだりんご畑。春になるとどこからともなく
チェーンソーのエンジン音が響いてきます。

冬の剪定で切れなかった太い枝や、昨シーズンの収穫を
もって引退したりんごの木を「今までありがとう♡」の感謝の
敬意をもって切っている音です。

こんな感じで今の時期、りんご農家の多くは「木こり」に
なります。

その後、木を根っこから
掘り起こすために、重機に
乗って「土木屋」になったり、
雪で壊れたものを直すために
「大工」になったりします。

日々、仕事内容が変わるので、
飽きずに楽しい毎日を送っています。



枝拾い

雪がすっかり解けてきて、剪定で切り落し
た枝が、園地にたくさん落ちています。

これからはしごを使った作業や薬剤散布
が始まり、枝が邪魔になるので枝拾いを
して整理します。

大小様々な枝が落ちていたので、ハサミ
で細かくしたり、冬に薪ストーブで
使用する枝に分けています。

枝拾いはしゃがんだり、中腰の作業が
多いので腰が「へずねえ」です。

これは春のりんご
農家あるあるだ
と思います。



※へずねえ・・・津軽弁で
「つらい」という意味です。

皆様からいただいたりんごの花ギャラリー



愛知県さま



神奈川県Uさま



北海道Nさま



奈良県Tさま



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.comホームページ : <http://ooyufarm.com>